

# 枝物の周年出荷体系の強化と輸出も含めた販路拡大

## 要約

奈良県五條市西吉野の枝物・花木産地に、閑散期の出荷できる新規品目を導入することで周年出荷体制を強化することができ、販売額の増加につながった。また既存品目において、国内だけでなく海外も視野に入れた販路拡大に取り組むことで、国内外の販売額や輸出品目を増加させることができた。

## 現状(背景)と課題

- ・生産者の高齢化が進んでいる(平均年齢73.5才)
- ・軽量で、生育が早く、市場での需要の高い品目、かつ春・秋の閑散期に出荷できる品目の導入により、周年出荷の実現が必要
- ・生け花での需要が低下している(全体の約10%)

## 目標

- ・新規品目の導入面積 70a
- ・新規品目の販売額 100万円
- ・販売額(国内+海外) 16,148万円
- ・輸出品目数 7品目

## 活動内容

### ① 新規品目(クハ・ミザ・ステック)の導入と定着支援

- ・新規実証圃の設置(5カ所)、生育調査(6回)、講習会の実施(2回)

### ② 既存品目の販路拡大

- ・海外需要調査(1カ所)、国内市場訪問調査(3回)

## 成果

- ・新規品目(クハ・ミザ・ステック)の導入面積が40aから78.7a拡大した。
- ・新規品目(クハ・ミザ・ステック)の販売額が125万円に増加した。
- ・輸出品目数が4品目から8品目に増加した。



生育調査の様子



海外市場調査の様子

## 普及活動のポイント

- ・新規品目を導入する際、調査結果で得た知見を JA ならけん西吉野花木部会の講習会で伝え、講習会で新たな問題を把握する手段は有効であった。
- ・輸出を推進していく際、奈良県枝物輸出促進協議会を立ち上げ、関係者が連携して進めることができた。また、市場と協力し、事業を活用してサンプル出荷等を継続することで、新規輸出品目を増加させることができた。

## 対象の変化

- ・新規品目(1-ガリ・ミザ<sup>®</sup>・アークツリ-)は、産地に定着しつつある。
- ・奈良県枝物輸出促進協議会を立ち上げ、輸出推進に取り組んだことで、販売価格の安定につながった。また、協議会の活動を通じて農業者間の情報共有が活発になった。

## 対象者からのコメント

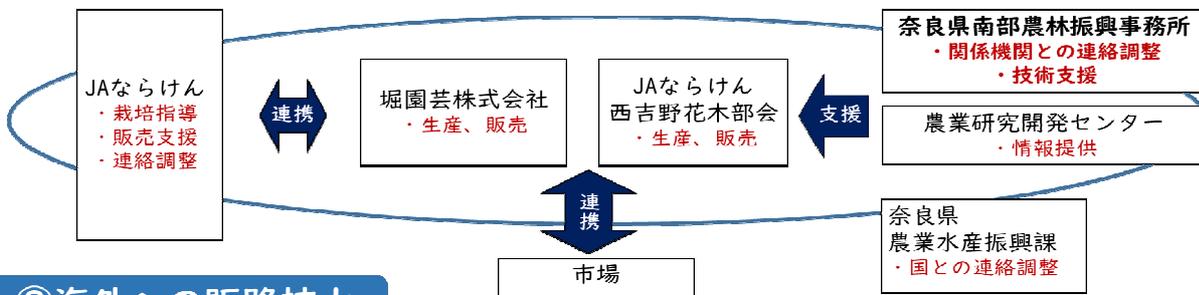
- ・輸出という新たな需要ができたことで、国内販売の花木の単価が高値で維持できている。今後市場と協力し、生産者に輸出品目、輸出先、輸出量の情報を見える形にすることで、生産者のモチベーションの維持につなげたい。

## これからの活動ビジョン

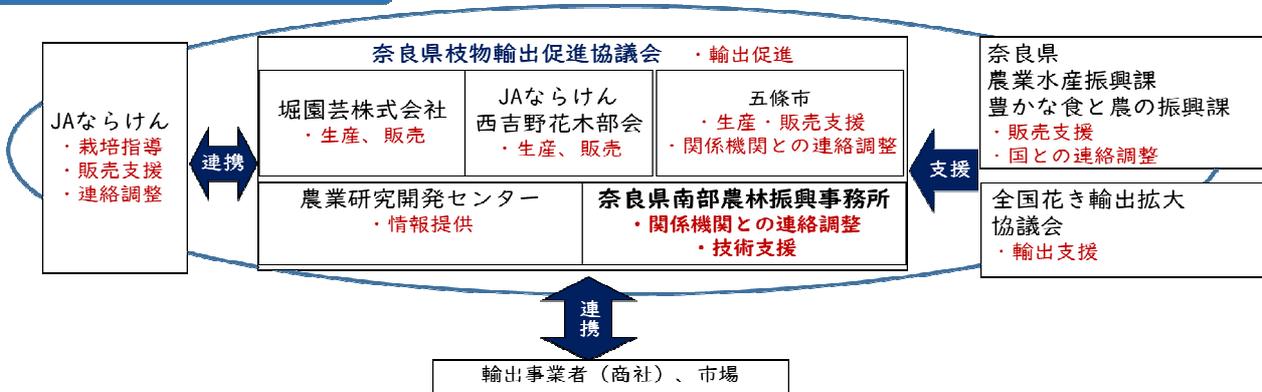
- ・新規品目(1-ガリ・ミザ<sup>®</sup>・アークツリ-)の栽培方法の確立と出荷規格を制定する。
- ・産地の生産量を維持、拡大していくために担い手確保対策を関係機関が連携して実施する。

## 活動体制

### ①新規品目の導入・定着、国内での販路拡大



### ②海外への販路拡大



南部農林振興事務所農業振興課  
担当：農産物ブランド推進系 山本・後藤

品目団体輸出力強化緊急支援事業  
新規有望切り枝品目生産拡大支援事業